

こいた 小板まきばの里通信 Vol 9.3

～夜鳴く鳥の声を聞いてみよう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高750mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

■キャンプ場周辺で春の植物を探索しよう！



■里山の自然観察 ～夜鳴く鳥の声を聞いてみよう～

ゴールデンウィークを過ぎると、キャンプ場の周辺では春の鳥の声に交じって夏の鳥の声が聞こえてくるようになり、里山は一段とにぎやかになってきます。ほとんどの鳥は日中だけ鳴くのですが、なかには夜や明け方暗いうちに鳴く鳥もいます。「アーオー、オアオアオー」と鳴くのはその鳴き声が名前になったアオバト。「キョキョキョキョキョ」と鳴くのはヨタカです。フクロウは「ホーホー」と鳴くと思われがちですが、その鳴き方は「ホッホー、ホッホホッホー」ととってもリズムカル。一番鳥らしくない声が「ヒュー、ヒュー」と細い口笛のような声で鳴くトラツグミ。その声の怪しさから妖怪「鵺(ぬえ)」と呼ばれて不気味がられていたのだとか。でも声の正体が鳥とわかれば怖さは感じなくなりますね。鳴いている鳥の姿を想像しながら夜鳴く鳥の声に耳を傾けてみましょう。